



敬老: 間違った情報の是正

敬老は、組織として進化を続ける高齢者のニーズを支援することに強い決意を抱いています。敬老は、高齢者への各種サービス、旧施設の居住者向けの各種プログラム、そして介護提供者への支援を通じて、我々のコミュニティの高齢者の生活に積極的かつ測定可能で多大な影響を持つように努めています。敬老は、高齢者が活力と自信をもって自ら望む条件で年を重ねるために必要な支援や道具を提供するべく、組織の能力を拡大しています。

ウェブサイト www.keiro.org で事実をご覧ください。

誤解: 敬老は売却契約に違反している。

事実: 売却の全条件は果たされており、今後も果たされる。

敬老は売却の全条件を果たす責任を負っており、カリフォルニア州法務長官室からの直接監視を受けながらこの責任を果たす努力をしています。さらに、日系米国人と日本人コミュニティの人々から構成されるコミュニティ諮問委員会が設けられ、この委員会は新しい経営会社と我々のコミュニティとの重要な架け橋となります。コミュニティ諮問委員会による検討、法務長官の監視、および敬老の職員による継続的な関係を通じて、居住者は質の高い介護を継続して受けることとなります。

誤解: 敬老は旧施設の居住者を見捨てた。

事実: 旧施設の居住者の福利と安全は敬老にとって非常に重要。

我々は、居住者の安心と福利を強化する資源を提供することに強い決意を抱き続けています。事実、敬老はボランティアプログラムの管理によって新しい施設経営会社と取り組んでいます。さらに敬老は、文化的背景を考慮した行事、クラス、そしてリソースを通じて居住者を支援しています。敬老は、新しいAVエンターテインメントシステム、講堂の拡張、新しいコンピュータ、そしてインターネット容量の増加など、施設における主要な改善プロジ

ェクトに資金を拠出しています。他には、日本語を話せる職員とボランティア、和食の提供、日本語テレビ・ビデオ・読み物の提供、そして日本の祭日の順守などの売却条件も満たしています。コミュニティー諮問委員会は、居住者が一貫した経験を得られるように施設経営会社を支援するべく忠告や意見を出します。

誤解: 敬老はそのミッションを放棄した。

事実: 敬老のミッションは変わりなく、我々のコミュニティーの高齢者の生活の質を向上させることである。

敬老は高齢者の生活を祝福し、彼らが尊厳、活力、自信をもって暮らせるよう支援をすることに努力しています。敬老は、高齢者、その家族および介護提供者が自ら選ぶ方法で年を重ねられるように支援とリソースを提供します。プログラム、リサーチ、行事やクラスなどを通じて、日系米国人と日本人高齢者が年を重ねるにつれ、思いやりのこもったサービスを受けながら、最善の健康、家庭、地域社会を経験できることを保証するべく、我々は努力しています。敬老のプログラムは我々のミッションを支えるものであり、高齢者の生活の質の向上、介護提供者の支援、そして敬老の旧施設の居住者向けのプログラムの継続に焦点を当てています。

誤解: 敬老は売却利益を将来どのように使うか全く計画していない。

事実: 売却条件として州法務長官によって義務付けられているように、敬老施設の売却の純利益は、日系米国人と日本人コミュニティーの高齢者に対するヘルスケアと施設におけるケアに使われる。その例として、ウェルネス・プログラム、健康に関する教育プログラム、ヘルスフェア、その他の日系米国人と日本人の健康と福利の向上を図るプログラムが挙げられる。

敬老は、高齢者の健康と福利に大きな影響をもたらすプログラムに懸命な投資を行い、高齢者が自信をもって自ら選ぶ条件で年を重ねられるようお手伝いすることによって、進化を続ける高齢者のニーズを満たしていきます。敬老のリーダーシップは、長期介護施設に焦点を当てることから離脱して、ロサンゼルス、オレンジ、ベンチュラ各郡の我々のコミュニティー

一にいる数万人もの高齢者に広く取り組み、かつ支援することへとその範囲を拡大することによってコミュニティにおいて変化を続けるニーズに対応することを選択しました。コミュニティへの拡大は、最大数の高齢者や家族介護提供者のニーズを満たすことを保証する助けとなります。さらに、専門家、地域社会の指導者、利害関係者、そして居住者と協力して、文化的に関連があり、効果的で、我々のコミュニティの変化を続けるニーズに見合うように将来のプログラムを改善してゆきます。

誤解: 敬老理事会とCEOは個人的に売却から益を得た。

事実: 敬老の施設売却の利益は敬老の留保となり、我々のコミュニティの高齢者の生活の質を向上させるというミッションを続けるために用いられる。敬老の目的は、特に日系米国人および日本人コミュニティ内の高齢者のために、慈善活動に取り組むということです。施設の売却から得た資金は、日系米国人および日本人コミュニティ内の高齢者に対する医療健康や在宅介護サービスのために保持、使用、配布されます。ボランティアや理事会の理事は敬老へのサービスからの報酬を受け取りません。

誤解: 敬老は高齢者のニーズを無視している。

事実: 敬老は、在宅で年を重ねる数万人という日系米国人と日本人の支援に焦点を当てたプログラムを強化。日系米国人や日本人の大多数は、自宅で自分の選ぶ条件で年を重ねたいと希望しています。実際、65歳以上の高齢者の97%は、看護施設ではなく自宅にいます(2010年米国国勢調査)。敬老は、感情、環境、身体、作業、金銭、知性、社交と宗教という福利の8つの面におけるバランスを促進するプログラムに新たな投資をすることを通じて、進化を続ける我々のコミュニティの全ての高齢者のニーズを満たすよう努力しています。

プログラムに対する皆様からのコメントやご意見をお聞かせください。宛先: planningforthefuture@keiro.org

###